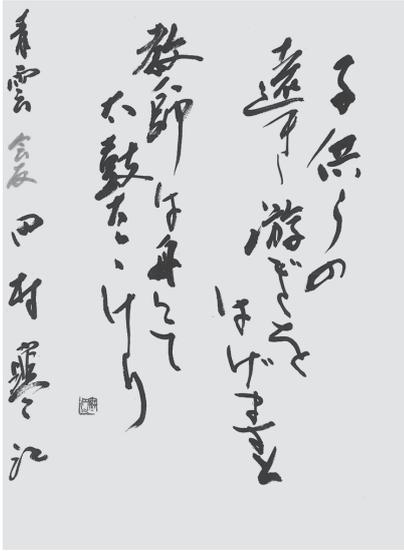


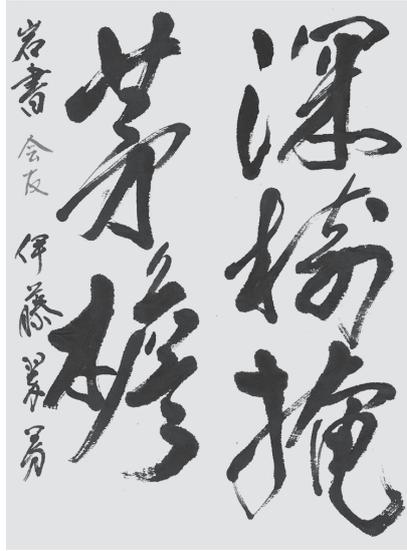
今月の最優秀作品

【新和様半紙】



青雲 田村 寒江 濃墨ながら歯ぎれのよい線でリズム良く書けている。下部の余白を雅印の位置と大ききでひきしめ、軽妙さも加わり好感がもてる。
(審査評 吉家 桂雪)

【漢字半紙】



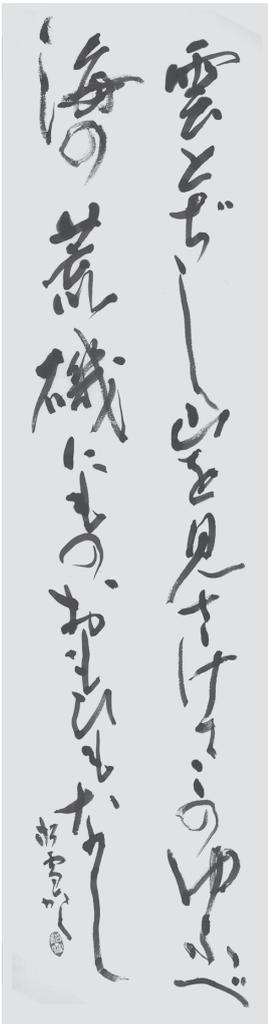
岩書 伊藤 信子 無理な誇張を避けた上品な筆致に感性の豊かさにじみ、墨色や線の繊細な変化の妙に、日々の鍛練を感じる。
(審査評 磯崎 香月)

【漢字条幅】



采女 熊野 素心 運筆自在の大らかな作。余白を活かした潤濁の配分も大胆である。観賞して安らかさを覚える秀作。
(審査評 永井 香樹)

【新和様条幅】



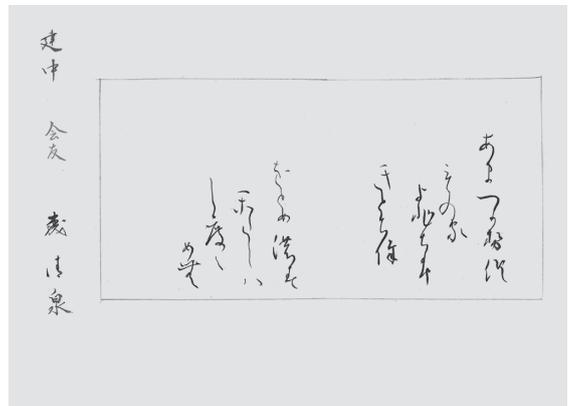
書学 岩国 松雪 墨色もよく一貫した深みのある線で銜いもない含蓄のある作。濁部も筆がよく動き、のの変化も見応えあり。実力の程が窺える。
(審査評 東仲 遙邨)

【かな条幅】



神奈 真藤 可穂 一行目の大胆な構成が目を引き。小さめの「夏」での含墨はパンチが効いて、作品のポイントとなった。確固たる実力が窺える一作。
(審査評 川島 史子)

【かな半紙】



建中 森 清泉 継色紙独特の運筆リズムにのせた墨の落とし込みが巧み。量感溢れる重厚感と品格のある秀作。
(審査評 西口 貴翠)

9月提出の競書の写真版全作品は、9月25日(木)より本会ホームページに掲載いたします。

秋田 岩田 蓮子
深樹掩
茅檐

依伊 蓮子 熊谷 美子
深樹掩
茅檐

梨霞 蓮子 松前 喜美代
深樹掩
茅檐

M 蓮子 芳賀 風馬
深樹掩
茅檐

久世 今之 長谷川 浩貴
深樹掩
茅檐

久我 蓮子 六角 青華
深樹掩
茅檐

水巻 蓮子 佐藤 芳實
深樹掩
茅檐

山学 蓮子 石井 孝夫
深樹掩
茅檐

山学 蓮子 乙高 智作
深樹掩
茅檐

西宮 龍門 蓮子 橋 真子
深樹掩
茅檐

山学 蓮子 根木 新一
深樹掩
茅檐

山学 蓮子 小形 美子
深樹掩
茅檐

山学 蓮子 山崎 有和
深樹掩
茅檐

水巻 蓮子 辰 望介
深樹掩
茅檐

山学 蓮子 垣田 理恵
深樹掩
茅檐

山学 蓮子 酒井 芳月
深樹掩
茅檐

成 蓮子 久保 寺 香梨
深樹掩
茅檐

山学 蓮子 吉野 和
深樹掩
茅檐

山学 蓮子 花園 梨芽
深樹掩
茅檐

山学 蓮子 山崎 有和
深樹掩
茅檐

山学 蓮子 福島 一庫
深樹掩
茅檐

水巻 蓮子 河野 文雄
深樹掩
茅檐

山学 蓮子 田中 芳子
深樹掩
茅檐

山学 蓮子 廣崎 依知子
深樹掩
茅檐

山学 蓮子 指田 菊子
深樹掩
茅檐

山学 蓮子 櫻井 みのり
深樹掩
茅檐

山学 蓮子 北条 采祥
深樹掩
茅檐

山学 蓮子 高 敏
深樹掩
茅檐

山学 蓮子 豊海 蓮月
深樹掩
茅檐

山学 蓮子 考志
深樹掩
茅檐

書字
加藤惠美子
使持節
蒲州

書字
赤田千恵
使持節
蒲州

双葉半三
阿部京子
使持節
蒲州

志風
三浦玉園
使持節
蒲州

宗泉
鎌五石垣崇峰
使持節
蒲州

逆雀
友部満
使持節
蒲州

加茂準二
中村優子
使持節
蒲州

加古望
井上梨沙
使持節
蒲州

大柳洋四倉
田工三
使持節
蒲州

吉一
津江美子
使持節
蒲州

書字
福岡 聖奈
黃中通理

せい初
佐藤静子
使持節
蒲州

三重二院
青山嘉象
使持節
蒲州

友知三良
安次官都
使持節
蒲州

書字
川村三彩子
使持節
蒲州

六花
田中美雪
黃中通理

書字
初
棚澤一浩
使持節
蒲州

白二院
力三工
使持節
蒲州

青松
宮城由美
使持節
蒲州

玉康
山内典子
使持節
蒲州

相武
是枝敦子
黃中通理

書字
初
仲野美香
使持節
蒲州

紅效二
高木揚子
使持節
蒲州

月倫
並木蓮月
使持節
蒲州

書字
藤原杏海
使持節
蒲州

春日
安生 恵朋
黃中通理

書字
寧津木尚子
使持節
蒲州

書字
宮下孝奈
使持節
蒲州

大田洋三
浦井敬子
使持節
蒲州

九州
鎌田大久保忍
使持節
蒲州

青玄
八坂
山崎照子
傳外
訓受

大柳
繁田季子
傳外
訓受

大井
天方寛香
通黄
理中

愛山
渡邊美世子
通黄
理中

書学
林公美
通黄
理中

書学
唐木真理子
傳外
訓受

大藤
村越奈弓
傳外
訓受

栢屋
横本信子
通黄
理中

書学
小森亮介
通黄
理中

浅井
間瀬悦子
通黄
理中

永岳
村上由華
傳外
訓受

書学
伊藤照美
傳外
訓受

飛越
真弓
通黄
理中

書学
真田夏彦
通黄
理中

青花
安重園子
通黄
理中

人二
石毛恵美
傳外
訓受

大藤
岩瀬淳子
傳外
訓受

書学
浅香直美
通黄
理中

書学
三浦花咲
通黄
理中

和
渡邊一代
通黄
理中

青松
松本訓子
傳外
訓受

大書
中川智恵
傳外
訓受

真紅
木山洋子
傳外
訓受

書学
松本千尋
通黄
理中

書学
渡部香奈枝
通黄
理中

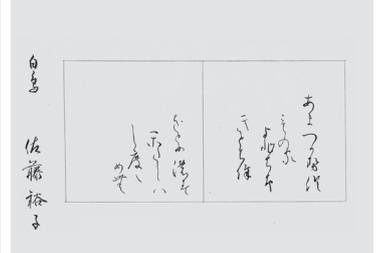
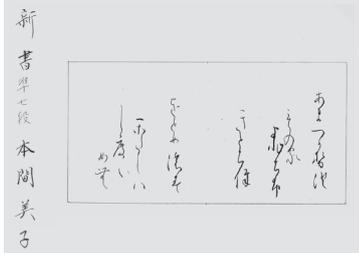
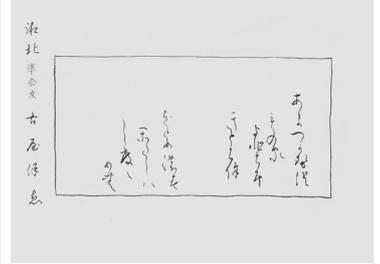
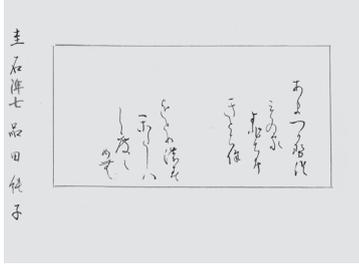
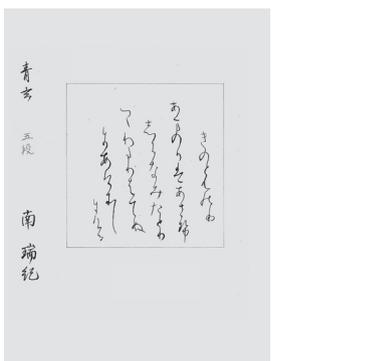
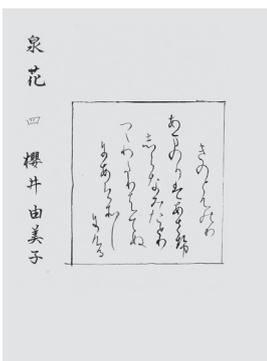
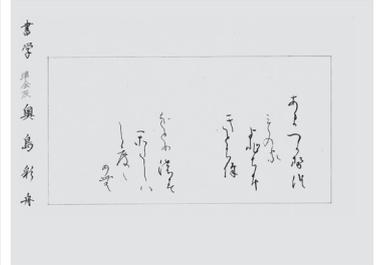
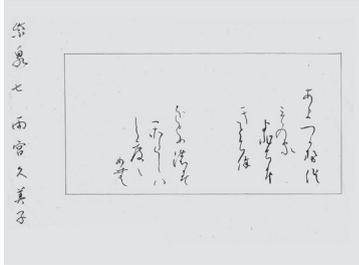
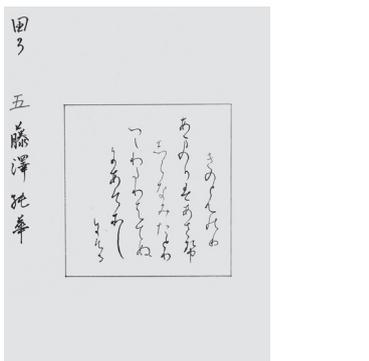
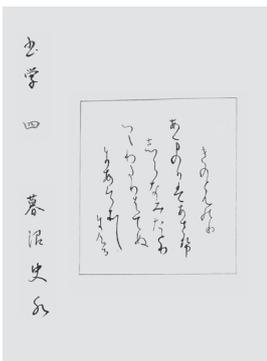
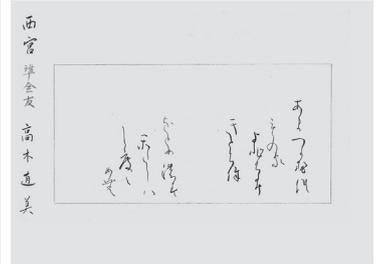
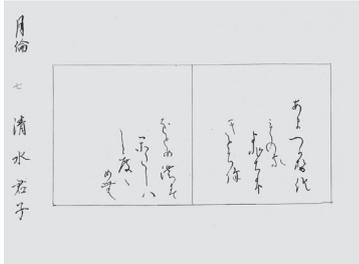
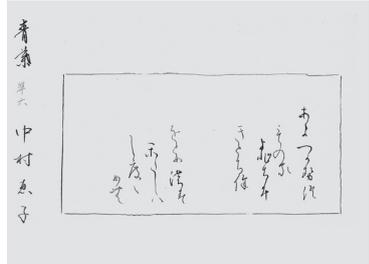
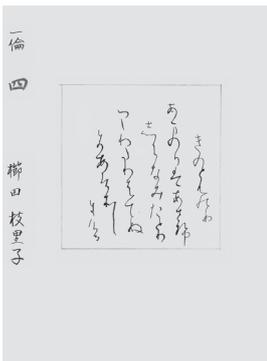
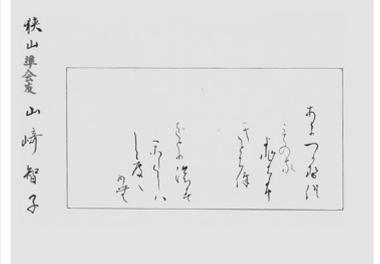
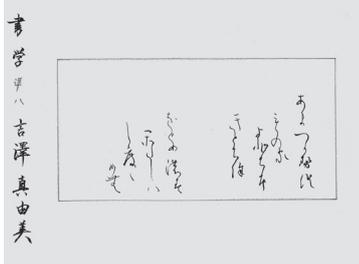
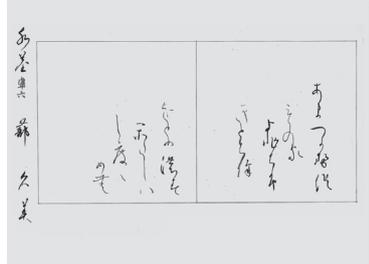
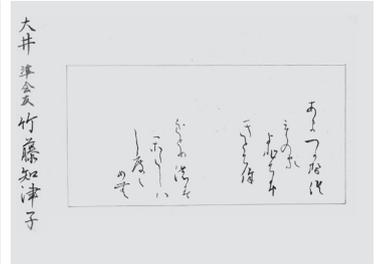
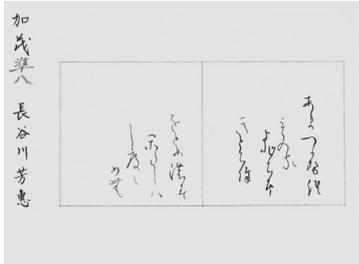
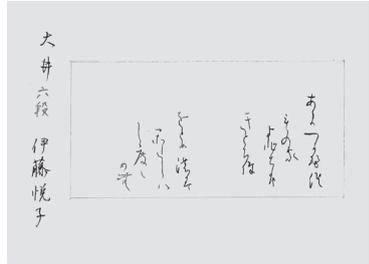
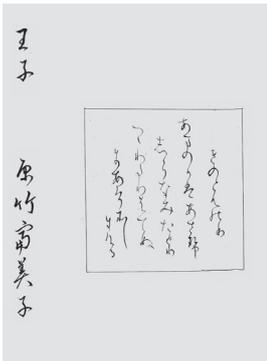
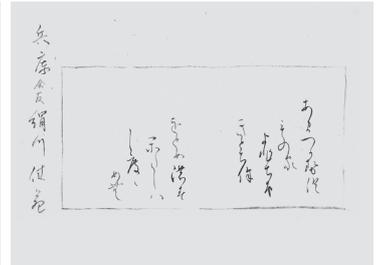
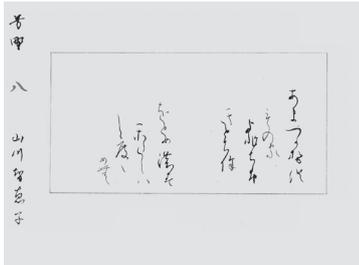
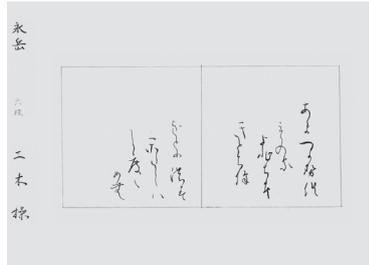
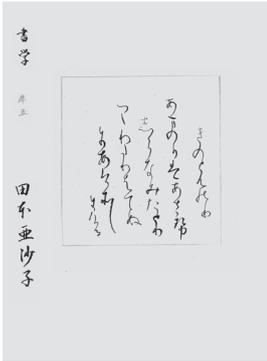
品濃
白井拓海
傳外
訓受

津
川岸知世
傳外
訓受

書学
藤谷雪北
傳外
訓受

六花
藤本幹
通黄
理中

千り
加藤和佳子
通黄
理中



子安 準初 道又 愛子

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

加茂 準二 中村 優子

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

青豆 二段 穴 淑子

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

きし 準二 河畑 奈子

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

水苑 準四段 水園 照子

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

武庫 準初 伊藤 かりり

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

書学 初 根本 伊織

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

藍 二 田中 敦子

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

南丘 準三 齋藤 桂子

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

松林 準四 門 真い子

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

春日 準初 山口 恵子

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

書学 初 金子 香子

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

書学 準三 清水 有紀

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

草扇 準三 佐藤 久美子

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

青景 佐藤 真理

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

書学 準初段 大村 雅美

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

青梅 初段 與住 典子

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

松寿 準二 小野 尚正 恵心

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

詠雪 二 在 周 祐子

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

書学 三 林 衣紀

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

書学 準初 加藤 恵美子

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

書学 初 山本 恵市

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

南丘 準二 小野 雅也

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

書学 二 宮下 香奈

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

芳水 三 柴原 小おる

まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき
まのんげわ
あゆりそあき

春日 鈴木勝美
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿

上管 松井絹代
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿

書学 粟田かほり
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー

鳳 小島律子
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー

上管 長島頌枝
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー

大井 高橋千賀子
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿

上管 二巖史希子
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿

さぶ 倉持政雄
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー

書学 紙内 慶
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー

上管 橋本寛代
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー

書学 木村恵美子
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿

書学 林実千子
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿

書学 並川麻美
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー

真紅 伏島三栄子
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー

書学 伊藤 旭
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー

三木 谷生彩華
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿

玉芳 相川知寛
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿

清 島田美和子
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー

書学 吉村 苗
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー

和 渡邊 一代
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー

大井 安田規子
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿

大藤 岩瀬淳子
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿
 ねねよ万々阿

大楠 姜 倭成
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー

書学 真田夏麻
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー

鳳 濱崎 綾香
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー
 わのけらやーふけーふけー

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

分北 六段 四邊 塘水

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

書学 七段 波多野 静方

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

大船 文青 木 弥生

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

書学 養父 井上 崇湖

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

建中 食 齋 以 泉

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

日南 六段 代田 和子

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

書学 七段 高藤 裕美

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

書学 七段 山崎 青林

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

平泉 舞臺 千原 高代

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

何賀 金友 石田 青水

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

六甲 七段 藤 宗 寿 範

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

大藤 準七 野 沢 英子

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

香泉 福 孝 香 泉

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

大春 八 谷 拓 弥

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

II 金友 芳 祐 清 苑

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

六甲 準七 藤 宗 寿 範

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

伊賀 準七 木 村 麗 子

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

書学 七 金 沢 栄 暎

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

双志 八 川 元 双 玉

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

神楽 舞臺 坂 下 栄 水

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

吉祥 準六 勝 又 容 子

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

書学 六 吉 原 典 子

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

千原 村 上 光 兼

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

栞 檀 八 浅 井 裕 美

子供らの
遠き遊ばせ
舟に
太鼓たけり

原 竹 準 八 坂 下 栄 水

つひにわれ
来りにけりと心しあ
心しあ
見し那智の大滝

楷堂 初岡本恵泉

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

二木陽彦

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

書学 二 増田堅三

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

書学 四 藤村あゆみ

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

芝心五段 森川鏡子

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

中原 中村英二

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

八雲 二 平田田香里

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

草前 三段 和田恵子

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

宗象 四 谷神義代

つひに
われ来りに
けりと
心しあ
那智の
大滝

書学 五 吉澤真由美

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

杉並初段 遠藤文馬

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

秋月 坂口静江

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

望水 三段 守屋美佐子

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

草前 四 和田ヤエ子

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

書学 五 田原愛

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

楷堂 半初 高橋ま子

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

三花 二 條原美佳

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

書学 三 國大和久

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

書学 三 森地かおり

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

千東 五段 石川知幸子

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

春水 半初 伊達宏子

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

さし 二 西川智子

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

景水 三 清水景苑

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

泉行 半初 本山由美

つひにわれ
来りにけりと心しあ
目をあげて見る
那智の大滝

久我 二宮 祥葉

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 格星 藍原香穂

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 早良 森 伸子

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 書学 清水龍蓮

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 書学的 場真木子

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 うみ 今村圭子

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 格星 増四櫻華

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 格星 久米法弘

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 梨園 上江洲麻子

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 メグ 丸山 早苗

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 永岳 中島裕子

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 音井 木村智恵子

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 書学 池田和子

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 音学 安田朋未

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 南立 宮崎千也子

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 台東九 大澄州代

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 永岳 岩田智恵子

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 花月 佐藤清魚

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 青二 小濱ゆき

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 書学 伊藤照美

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 星霜 森本のくみ

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 荃所 中里由美子

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 白千 金澤直子

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 南草 友田将予

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 清苑 薦口千晶

寺の庭
 とほろ水着の
 霰たれ
 川口 養田和子

二麦俱秋斗百錢田
家喚作小豊年
新書 小柳 浩美

二麦俱秋斗百錢田
家喚作小豊年
書字 川瀬 英之

二麦俱秋斗百錢田
家喚作小豊年
佳心 岩城 秀子

半歳依脩竹三時看好
花懶傾惠泉酒
書字 榎木 新一

半歳依脩竹三時看好
花懶傾惠泉酒
筑波 澤田 真也

浮雲遊子意
書字 赤田 千恵

浮雲遊子意
書字 金澤 華煌

二麦俱秋斗百錢田
家喚作小豊年
新書 大島 薫

二麦俱秋斗百錢田
家喚作小豊年
書字 久保真紀子

二麦俱秋斗百錢田
家喚作小豊年
書字 尾崎美和子

半歳依脩竹三時看好
花懶傾惠泉酒
書字 甲斐千恵美

半歳依脩竹三時看好
花懶傾惠泉酒
大書 橋本美恵子

浮雲遊子意
書字 横木 優子

浮雲遊子意
書字 藍原 香径

二麦俱秋斗百錢田
家喚作小豊年
九書 佐藤 秀麗

二麦俱秋斗百錢田
家喚作小豊年
千蔵 伊藤 庸子

二麦俱秋斗百錢田
家喚作小豊年
第一 説田 仁子

半歳依脩竹三時看好
花懶傾惠泉酒
星霜 内田 香珠

半歳依脩竹三時看好
花懶傾惠泉酒
書字 齋藤 和子

浮雲遊子意
書字 加藤恵美子

浮雲遊子意
草扇 齊藤 洋子

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

桃林 斎藤 江葉

書字 川瀬 英之

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

紅衫 磯崎あゆみ

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

書字 藤井 颯子

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

書字 山本 順子

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

草扇 岡田乃里子

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

景水 清水 景苑

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

九書 垣田 理恵

佳心 岩城 秀子

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

市書 森 留美

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

水荃 蔀 久美

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

長倉 阿部 宏美

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

紅衫 高 ななみ

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

M M 千葉 伶華

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

新書 大島 薫

きし 中 守楽

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

水荃 星川みどり

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

愛山 加藤 遊水

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

書字 本山 径子

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

書字 林 友紀

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

森野 青木 努

雲とてしんを見上げてこのゆふべ
海の荒磯にもおもひなかり

敬呈名
高 崎
氏 名
新 保 昭 子

お納めいただきありがとうございます。幸に存じます。
 只今は結構なお品をお送りください。
 まして誠にありがとうございます。

敬呈名
和
氏 名
高 橋 和 泉

お納めいただきありがとうございます。幸に存じます。
 只今は結構なお品をお送りください。
 まして誠にありがとうございます。

敬呈名
白 彦
氏 名
斎 田 恵 美 子

お納めいただきありがとうございます。幸に存じます。
 只今は結構なお品をお送りください。
 まして誠にありがとうございます。

敬呈名
ね ま
氏 名
齊 藤 和 青

お納めいただきありがとうございます。幸に存じます。
 只今は結構なお品をお送りください。
 まして誠にありがとうございます。

敬呈名
こ ま
氏 名
植 田 玉 苑

お納めいただきありがとうございます。幸に存じます。
 只今は結構なお品をお送りください。
 まして誠にありがとうございます。

敬呈名
平 島
氏 名
千 景 高 代

お納めいただきありがとうございます。幸に存じます。
 只今は結構なお品をお送りください。
 まして誠にありがとうございます。

敬呈名
い ち
氏 名
神 原 由 紀 子

お納めいただきありがとうございます。幸に存じます。
 只今は結構なお品をお送りください。
 まして誠にありがとうございます。

敬呈名
書 字
氏 名
高 橋 百 合 子

お納めいただきありがとうございます。幸に存じます。
 只今は結構なお品をお送りください。
 まして誠にありがとうございます。

敬呈名
姫 春
氏 名
生 越 三 子

お納めいただきありがとうございます。幸に存じます。
 只今は結構なお品をお送りください。
 まして誠にありがとうございます。

敬呈名
伊 賀
氏 名
石 田 春 代

お納めいただきありがとうございます。幸に存じます。
 只今は結構なお品をお送りください。
 まして誠にありがとうございます。

敬呈名
若 松
氏 名
島 田 真 弓

お納めいただきありがとうございます。幸に存じます。
 只今は結構なお品をお送りください。
 まして誠にありがとうございます。

敬呈名
建 中
氏 名
渡 邊 翠 月

お納めいただきありがとうございます。幸に存じます。
 只今は結構なお品をお送りください。
 まして誠にありがとうございます。

德如是其王即時以國付弟與夫人二子并諸眷屬於佛法中出家脩道王出家已於八萬四千歲常勤精進修行妙法華經過是已後得一切淨功德莊嚴三昧即昇虛空高七多羅樹而白佛言世尊此我二子已任佛事以神通變化轉我耶心令得安住於佛法中得見世尊此二子者是我善知識為欲發起宿世善根饒益我故來生我家余時雲雷音宿王華智佛告妙莊

九書 長谷川裕美

德如是其王即時以國付弟與夫人二子并諸眷屬於佛法中出家脩道王出家已於八萬四千歲常勤精進修行妙法華經過是已後得一切淨功德莊嚴三昧即昇虛空高七多羅樹而白佛言世尊此我二子已任佛事以神通變化轉我耶心令得安住於佛法中得見世尊此二子者是我善知識為欲發起宿世善根饒益我故來生我家余時雲雷音宿王華智佛告妙莊

大藤 鈴木 白藍

摩訶般若波羅蜜多心經 觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不異色色即是空空即是色受想行識亦復如是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨不增不減是故空中无色无受想行識无眼耳鼻舌身意无色声香味觸法无眼界乃至无意识界无无明亦无无明盡乃至无老死亦无老死盡无苦集滅道无智亦无得以无

埼玉 竹内 大貴

德如是其王即時以國付弟與夫人二子并諸眷屬於佛法中出家脩道王出家已於八萬四千歲常勤精進修行妙法華經過是已後得一切淨功德莊嚴三昧即昇虛空高七多羅樹而白佛言世尊此我二子已任佛事以神通變化轉我耶心令得安住於佛法中得見世尊此二子者是我善知識為欲發起宿世善根饒益我故來生我家余時雲雷音宿王華智佛告妙莊

養心 小林 惠華

摩訶般若波羅蜜多心經 觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不異色色即是空空即是色受想行識亦復如是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨不增不減是故空中无色无受想行識无眼耳鼻舌身意无色声香味觸法无眼界乃至无意识界无无明亦无无明盡乃至无老死亦无老死盡无苦集滅道无智亦无得以无

書学 小島 黄雪

摩訶般若波羅蜜多心經 觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不異色色即是空空即是色受想行識亦復如是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨不增不減是故空中无色无受想行識无眼耳鼻舌身意无色声香味觸法无眼界乃至无意识界无无明亦无无明盡乃至无老死亦无老死盡无苦集滅道无智亦无得以无

書学 山根美枝子

德如是其王即時以國付弟與夫人二子并諸眷屬於佛法中出家脩道王出家已於八萬四千歲常勤精進修行妙法華經過是已後得一切淨功德莊嚴三昧即昇虛空高七多羅樹而白佛言世尊此我二子已任佛事以神通變化轉我耶心令得安住於佛法中得見世尊此二子者是我善知識為欲發起宿世善根饒益我故來生我家余時雲雷音宿王華智佛告妙莊

書学 和久津久美

德如是其王即時以國付弟與夫人二子并諸眷屬於佛法中出家脩道王出家已於八萬四千歲常勤精進修行妙法華經過是已後得一切淨功德莊嚴三昧即昇虛空高七多羅樹而白佛言世尊此我二子已任佛事以神通變化轉我耶心令得安住於佛法中得見世尊此二子者是我善知識為欲發起宿世善根饒益我故來生我家余時雲雷音宿王華智佛告妙莊

書学 國吉 利典

摩訶般若波羅蜜多心經 觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不異色色即是空空即是色受想行識亦復如是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨不增不減是故空中无色无受想行識无眼耳鼻舌身意无色声香味觸法无眼界乃至无意识界无无明亦无无明盡乃至无老死亦无老死盡无苦集滅道无智亦无得以无

書学 宮下 香奈

審査評—秋山 凌雲
規定 「守拙」



書字 石井 孝夫
印文を縦に布字した朱白相間印。線質鋭く、中央の空間も効果的。引首印としても使用できる実用的な作。



書字 嬉野 満利子
縦線に目を付け構成した章法が素晴らしい。それぞれの線に変化があり、表情がある。見ていて楽しめる作。



新書 宮城 康湖
篆刻三法を踏まえた作品製作に手慣れている感有り。疎密が明確で印象に残る作。

随意 「人生看得幾清明」



島田 田村 潔
疎画、繁画がある七字を端正にまとめ、安心してみられる作。起筆取筆を意識した筆意があると尚可。

規定 (艶)

審査評—松岡 雪華
書美の真髓を求める漢字の一字書——



采女 熊野 素心 潤筆で沈着した「豊」と骨力のある「色」とが見事に調和し、草書のリズムを表現。小さめの押印により右の余白が生きた。

水荃 鶴淵 雅子 流暢な運筆で行書の味わいを表現。墨量の加減を生かしての疎密の変化が巧みで、最終画まで丁寧に運筆した。

桑原 佐伯 政子 縦画を生かした伸びやかですっきりとした線が魅力的。押印によって作品に品致を添えた。

八幡 赤木 裕子 「艶」の本字は「豔」である。篆書のモチーフを潤濁とやや傾斜させた造型で表現。押印によって安定感を得た。

随意 (ま)

審査評—松岡 雪華
詩情や筆遣ひの極意を知る平かな表現——



MM 千葉 伶華 紙面を縦横に生かし、大胆な横画からやや左に傾斜してから直線へと向かう縦画の冴えが見事。

書字 尾崎美和子 気を銜わず、素直で自然な表現が清々しい。押印の位置に一考を。

水荃 山崎ミユキ 字源である「末」の草書を穏やかな運筆と柔らかな墨色で表現。最後の点が絶妙な空間を醸し出している。

万里 神之田澄水 筆先を沈めてねじり込むような力強い線質、さらに上部と下部の広狭により安定感のある作品となった。